



草鞋 わらじ



お祭りの履物のなかで、もっとも古典的で粋な草鞋（わらじ）。草鞋掛足袋（わらじがけたび）と一緒に履きます。サイズはひとつだけなので、足の大きな人はつま先がはみ出るように履きましょう。足に合わせて一度紐を通して履いてしまえば、次からは簡単に脱ぎ履きができます。

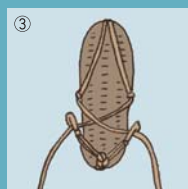
履き方



① 2本の長い紐がついているほうが前、2つの輪がついているほうが後ろとなります。



② 長い紐を草鞋の側面前方の輪に通し、2つの輪を草鞋の側面後方の輪に通します。



③ 長い紐を交差させてから、それぞれ後ろの2つの輪の先に通します。



④ 草鞋掛足袋を履き、草鞋に足を通します。



⑤ 足の外側にある長い紐を足の甲に沿って巻きつけて、かかとと草鞋の隙間に通します。



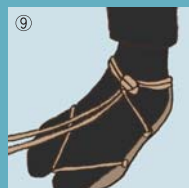
⑥ 足の内側にあるもう片方の紐を足の甲にもっていき、甲の上で折り返して弧をつくります。



⑦ ⑥の紐の先を、⑤と同じ隙間に通します。



⑧ ⑤の紐と⑦の紐の先を束ねて⑥でつくった弧に通し、草鞋が外れないようにきつく締めあげます。



⑨ で束ねた長い紐をこま結びにして、⑥でつくった弧に引っかけます。



紐の余った部分をハサミで切ったら・・・完成！

脱ぎ方

⑨でつくったこま結びを外せば簡単に脱ぐことができます。

